

○4番 前田夏菜君

私は、延永小学校6年の前田夏菜です。私は2つの質問をします。

まず、リブリオ行橋の改善についてです。リブリオ行橋の1階は無機質で淡々としたイメージがあります。照明や展示などで温かい印象にしてみتهいかがでしょうか。

また2階では小さい子用の椅子と机がありますが、畳など床に直接親子で座ったりするゾーンを設置してはいかがでしょうか。また小学校高学年でも使える椅子と机を置いたりしてはいかがでしょうか。

○後半議長 石川蒼真君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

議員の質問にお答えします。いつも御利用いただきまして、ありがとうございます。

リブリオ行橋は、いろんな目的によってゆっくり時間をもって過ごせるように、4つの階のそれぞれに特色をもたせ、子どもたちから大人、高齢者が集い、学び憩える交流空間づくりを目指して建てられております。

御指摘のありました1階は、小さなお子様が親子で遊ぶことのできるプレイルームやガラス張りの窓に面した飲食可能な交流スペース、勉強や仕事ができるスペース、そしてイベントができるホールがあります。天井の高さや照明を変えることは費用面で難しいので、入ってすぐに温かみを感じてもらえるような空間になるように、ディスプレイや掲示物などで工夫を行ってまいりたいと思います。

また2階は、児童開架として小さなお子様から小学生向けの本があります。また大人の方向けの料理や洋服づくりなどのくらしの本や教育に関する本も置いております。小さなお子様や小学校低学年の方向けの机と椅子を設置していますが、大人の方でも座ることが可能であります。外につながるドアで、階段テラスに行くことができ、遊べる場所として一体的に利用できます。畳ではございませんが、議員がおっしゃるように床に直接座ったりするゾーンとしては、土曜日、日曜日、月曜日の10時から午後4時までには託児スペースとなりますが、靴を脱いで本が読めるフローリングのキッズルームという場所がございます。

3階は気軽にくつろぎを感じてもらえる一般開架となっております。子どもの本では物足りないけれど、大人の本ではまだ難しすぎるといった、主に中学生・高校生を中心とした10代の人向けのコーナーもあり、グループ学習ができるようなコーナーもあります。もちろん小学生高学年の方でも使用可能であります。2階は、より小さなお子様のための机と椅子のスペースとし、3階を小学校高学年の方に御利用いただければと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。以上です。

○後半議長 石川蒼真君

前田議員。

○4番 前田夏菜君

ありがとうございました。

次に、地域企業と協力した小学生対象のイベントを行い、交流する機会を増やすと図書館を利用する人も増えて若者の活字離れの解消にもつながると考えます。そのような取り組みを行ってほしいです。

また、参加しやすくなるために、イベントの様子を参加者の許可を得て掲示するなどしてはいかがでしょうか。

○後半議長 石川蒼真君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

質問にお答えします。地域活性化のための人の交流を盛んにするようにと、各種イベントを実施しております。

小中学生を対象とした催しは、ゆくはし図書館を使った調べる学習コンクールや、読書が好きな子も苦手な子も嫌いな子も新しい楽しみ方を知ることができる講座、また読書だけではなく、電波教室やプログラミング講座、天体教室等のイベントも開催しています。

議員が御提案された地域企業と協力したイベントですが、九州電力様や福岡銀行様、また荻田町の西日本工業大学、北九州市の九州工業大学や北九州市立大学の皆さんによる講座があります。また、安川電機様や日産自動車九州様からは毎年本を寄贈していただいています。

市内企業やお店などとの取り組みは、毎月図書館で発行しているリブリオ通信という広報紙に、リブリオのご近所さん、というコーナーで近くのお店を紹介したり、行橋の地域の活性化を行う団体のイベントに協力したりしています。

今後も小学生の皆さんに御参加いただける地域企業や、市内の会社の方による講座を企画し、図書館を身近に親しむとともに、行橋市の良さを感じることができる場の提供を図ってまいりたいと思います。

イベントのの様子 of 掲示についても検討してまいります。また、市報やホームページ、リブリオでの掲示やロイロノートへのチラシの配信などで開催をお知らせしておりますが、このような催しの情報を入手しやすいように、学校にもこれまで以上に情報を発信してまいりたいと思っております。以上であります。

○後半議長 石川蒼真君

前田議員。

○4番 前田夏菜君

ありがとうございました。どうぞ前向きな御検討を、よろしくお願い申し上げます。

次の質問に移りたいと思います。車やバイクの騒音について、お尋ねします。

私の住む地域では、うるさい車やバイク等が昼夜を問わず走っています。学校内でアンケートをした結果、84パーセントの人がうるさい車やバイクが家の周りを走っていると回答し、その内、うるさいと回答した人は68パーセントいました。音の影響で宿題に集中できず夜も寝れないことがある、との声も聞かれます。

そこで、市で条例をつくったり、パトロールを強化するなどの対策を検討することができないのか、お尋ねします。

まず、過去にそのような苦情や相談はありましたか。また、その時の市の対応や現在の取り組みについてお尋ねします。

○後半議長 石川蒼真君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

お答えいたします。まず、こういった苦情や相談といったものは、やっぱり年に数回は、市のほうにもきております。

そしてそれに対しての対応などですが、1つは、直接警察にお知らせすることがございます。それからもう1点は、駅前交番連絡協議会といったものが年に数回、これは警察が開催しておりますけれども、そういった会議がございます。そこに参加をさせていただいて、犯罪や交通安全に関する情報交換などを行っております。以上でございます。

○後半議長 石川蒼真君

前田議員。

○4番 前田夏菜君

ありがとうございました。

次に、今後の騒音への対策や対応について、お尋ねします。

○後半議長 石川蒼真君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

お答えいたします。いま申し上げましたけれども、基本的には、こういったものは、まず条例の前に道路交通法という法律がありますので、これにのっとって罰則などもございます。ここはしっかりと警察が取り締まるようになっておりますので、やはり日

頃からの連携を密にすることだと思っております。

行政としましては、地域住民の皆様方の御意見というのをしっかりと伺いながら、また地元の方々とも協議をさせていただきながら、そしてそこで出てきた御意見といったものを、また警察にもしっかりとお伝えすると、それから同時に、やはり交通ルールというものは、それこそ児童・生徒の皆さんにも、例えば自転車に乗るときはヘルメットを被るだとかのルールがありますよね、これは努力義務ということではありますけれども、そういったところを若い世代の方々とも共有していきながら、保護者の世代の方々にも、より理解をしていただくだとか、そういった取り組みも行政としてできるのかなと思っておりますので、その辺もしっかりと広報・啓発をさせていただきたいと思えます。以上でございます。

○後半議長 石川蒼真君

前田議員。

○4番 前田夏菜君

ありがとうございました。これで私の質問を終わります。